



(証券コード：4667)

# 第39期ビジネスレポート

The 39<sup>th</sup> Business Report

2008.4 - 2009.3

# アイサンテクノロジー株式会社

# 経営理念

## 社是

「知恵 それは無限の資産」

「実行 知恵は実行して実を結ぶ」

「貢献 実を結んで社会に貢献」



## 行動方針

「より正確な位置を求める解析技術」を追求する基本姿勢は崩さない。  
ただし、関連する分野には前向きに挑戦していきます。

法令遵守を徹底したモラルの高い会社を目指し、  
社員が長期に渡って活躍できる環境を作ります。

アイサンテクノロジーは「社是」を経営理念に据え、  
最先端の技術と共に、「より正確な位置を求める解析技術」のスタンダードを目指し社会に貢献します。

## 平成21年3月期 事業報告

株主の皆様におかれましては益々のご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

さて、早速ではございますが第39期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の事業報告を申し上げます。

当事業年度における我が国の経済状況は、平成20年9月15日の「リーマン・ショック」を引き金に、これまで水面化で燻っておりましたサブプライムローンに関連した債券市場並びにCDS市場が大混乱し、世界経済は「百年に1度と言われる」経済危機に直面した結果、世界同時不況回避に向けて各国政府・中央銀行は前例の無い政策を投入する事態となりました。当初、国内経済に与える影響は少ないとした見方が一般的でありましたが、11月からその状況は一変しパブル経済崩壊時以上の不況となり、派遣社員の契約の打ち切り等は大きな社会問題としてクローズアップされたことは記憶に新しいところです。当社の主たる販売市場である測量設計・不動産登記・建設関連市場においても、デベロッパー企業各社の経営破綻によってマンションの契約率は低迷、大型補正予算は執行の遅れから公共事業関連の予算執行も滞り、市場全体が低迷する厳しい状況となりました。

このような状況の中で当社は、主力製品であります「WingNeo（ウィングネオ）」のさらなる拡販をはじめとし、測量の観測現場に欠かすことのできないモバイルシステム「PocketNeo（ポケットネオ）」の業界標準に向けた積極的な営業提案を進めるとともに、財団法人衛星測位利用推進センターの賛助会員として、来たる準天頂衛星時代に向けた「高精度位置情報」の利活用シーンを様々な形で提案してまいりました。また、新規事業分野においては、あらゆる行政手続きに係るオンライン化に向けた具体的なソリューションをアライアンス企業と様々な業種・業態に対して提案を進めることにより、中期的な事業展開への整備に努めてまいりました。

以上の結果、当期の売上高は1,378百万円（対前年比19.7%減）となり、販売市場の厳しい景況感を受けた売上高の減少に対応すべくあらゆるコストの見直しと削減に努めましたが、営業利益は1百万円（対前年比98.9%減）、経常損失は1百万円（前年同期は114百万円の経常利益）となりました。当社は従来より実施してまいりました所有資産の効率的活用を積極的に進める方針から、第3四半期に尾張旭事業所の土地・建物の減損処理をし、その後に売却処分を行い、それによって得た資金は今後計画する新規事業に向けた営業基盤の構築・開発体制のさらなる充実に向けた投資資金として使用すること等により、当期純損失は168百万円（前年同期は39百万円の当期純利益）となりました。

## 今後の見通しについて

平成20年9月15日の「リーマン・ショック」から端を発した世界同時不況の荒波が瞬間に世界中を覆い尽くした結果、国内経済に与える影響は計り知れない状況であり、景気の落ち込みは未だ底を見ない形で推移する厳しい経営環境は当面続くと予想しております。当社の主力製品の販売市場も例外ではなく、景況感の低迷に購買意欲も比例すると判断しております。

当社を取り巻く厳しい経営環境が当面は続くと予想する中、測量市場に向けたソフトウェア開発並びにソリューション提案が行える国内唯一のメーカーとして当社のソフトウェアをご使用いただくお客様からの信頼にお応えし、新たなビジネスシーンを創造していくことが当社の使命と認識しております。こうした状況の中において当社は、コア技術を最大に利活用した製品開発に努め、国内唯一の「測量市場」をソリューションするメーカーとしてのブランド力の向上に努めてまいります。特に平成19年5月に成立しました「地理空間情報活用推進基本法」を受けた高精度位置情報のインフラを整備する大プロジェクト「G空間プロジェクト」に向けた様々な提案を関係機関へ実施していく事から3次元地図整備計測事業等へ事業展開を図ることで、より測量市場に深く関わる「深！測量」を中期的な経営方針として掲げた事業展開を進めてまいります。また、内部統制に係る体制のさらなる整備を進め、コンプライアンスのもとあらゆる業務の「見える化」を推進し経営の透明化の促進を図り当社に関わるステークホルダーに貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

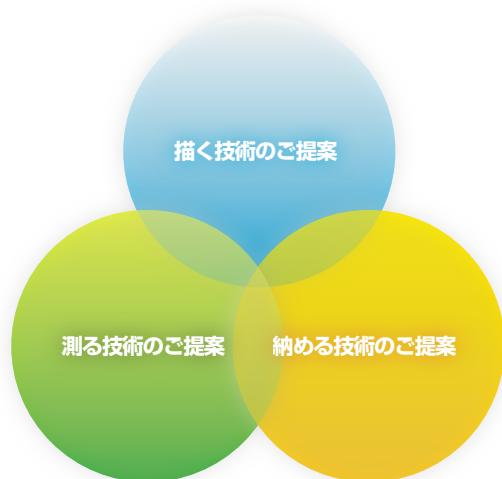


アイサンテクノロジー株式会社

代表取締役社長 柳澤哲二

# 会社紹介

アイサンテクノロジーは公共事業に関わる業種から「測量設計業」「建設業」と不動産登記に関わる「土地家屋調査士業」の皆様を主たるお客様としています。お客様が各業種・各業務毎に抱える様々なお困りごとに柔軟にお応えできるソフトウェアやサービスをご提案しております。



お客様は測量設計業・建設コンサルタント業・建設業の約55万社にのぼる市場。土地家屋調査士の有資格者は全国に約18,000人であり、不動産登記に関わる専門家です。

## ■ソフトウェア・ソリューション事業

測量・建設業のお客様に向けて、位置を求め、各種図面作成を効率化するCADシステムの設計・開発・販売を行っております。

CADにて図面を作成する以外にも、その図面を作成するために「測る」ことを支援するソフトウェア、作成した図面の「納品」を支援するソフトウェア等、お客様にトータルなソリューションをご提案しております。

土地家屋調査業に向けては、不動産登記に必要な書類及び図面作成を支援するソフトウェア及び、申請業務のオンラインをサポートするソフトウェアを提案しております。

## ■サポートサービス事業

ソフトウェア導入後のアフターサービスの充実、他社との差別化を図るための重要なサービスとして位置づけております。

品質の高いサポートサービスの提供によってお客様にご満足頂き、長くアイサンテクノロジーのソフトウェアをご利用頂けるサポートサービス事業を展開しております。

## ■新規事業

新規事業として、三菱電機社が開発した「モバイルマッピングシステム」を導入、高精度な三次元地図計測事業の立ち上げを図ります。

製品紹介		土地家屋調査士
測る	位置を測り、座標を求めます。	Pocket Neo
描く	測った位置を元に、点をつなげて図面を作成します。	
納める	作成した図面を電子化して納品します。	WINGOLDIAR

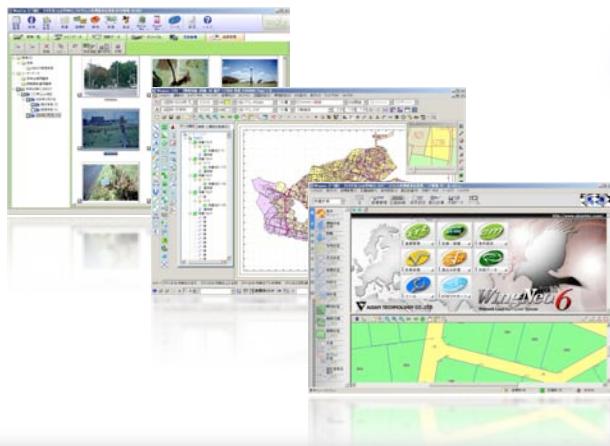
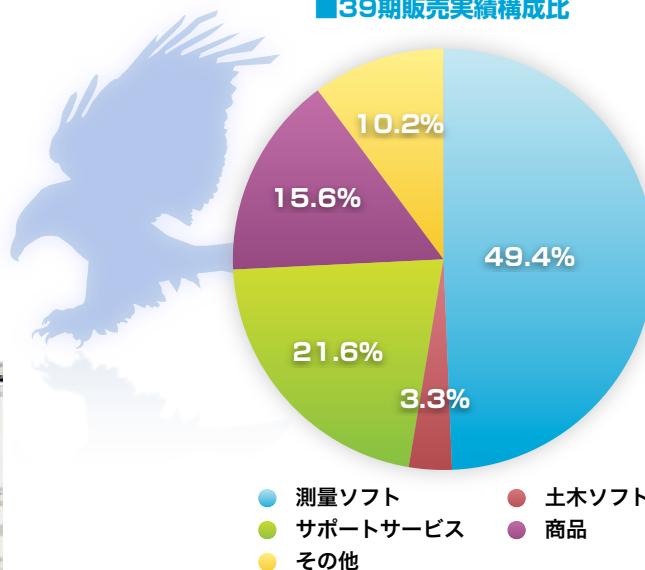
# 販売実績

(単位：千円)

	測量ソフト	土木ソフト	サポートサービス	商品	その他	合計
39期売上	680,670	44,948	297,417	214,580	140,526	1,378,143
38期売上	1,024,448	67,523	317,579	194,584	111,964	1,716,103
前期比	66.4%	66.6%	93.6%	110.3%	125.5%	80.3%
39期構成比	49.4%	3.3%	21.6%	15.6%	10.2%	100.0%

- サポートサービスは、保守料・インストール料などが含まれます。
- 商品は、サプライ品・OS・汎用アプリケーションなどが含まれます。
- その他は、修理・賃貸料・業務支援料などが含まれます。
- 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
- 前期比、39期構成比は小数点以下2桁を四捨五入しております。

■39期販売実績構成比



測量設計

建設

Mobile Neo

平成検地

Wing Neo

情報化施工 for  
Auto CAD® Civil 3D®

WEB電子納品

# 39期のアイサンテクノロジーの取り組み

4月	5月	6月	7月	8月	9月
<p>■株式会社ジェノバと代理店契約を締結</p>	 <p>●物流部門が本社ATビルへ移転</p>	<p>■地理空間情報システム展に出展</p> <p>★株主総会開催 ★株主懇談会開催</p>	<p>●J-SOX、会社法に適合した内部統制体制整備</p>		<p>■株式会社現場サポートと業務提携を発表</p>
10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p>■オートデスクとの販売認定パートナー契約締結に関するお知らせ</p>		<p>■東京農工大との「診療所向けORCA対応手書き電子カルテ開発」産官学連携</p> <p>■WingNeo6の先行予約を開始</p>	<p>■新春ビジネスパートナーフォーラム2009を開催</p>  <p>◆プライバシーマークを更新</p>		 <p>■WingNeo6リリース</p>

●社内体制強化の取り組み ■販売事業の取り組み ★IR活動の取り組み ◆その他当社の取り組み



# アイサンテクノロジーの新しい取り組み

アイサンテクノロジーは、2009年3月に三菱電機株式会社が開発した車載型による移動式高精度三次元計測システム「モービル・マッピングシステム（以下、MMS）」を導入、高精度な三次元地図計測事業を立ち上げます。

## MMSとは？

MMSとは、車両に搭載したGPS・レーザースキャナー・カメラなどの機器を使用し、建物・道路の形状・標識・ガードレール・路面文字・マンホール等の道路周辺地物の形状を詳細に捉え、正確な位置をデジタル形式で測定する移動式高精度三次元計測システムです。

MMSは、走行中に2個のレーザースキャナーを使って前方全周囲の地形をスキャンし、1秒間に約2万点の点群を取得。さらに同時にカメラで撮影し、道路標識などの詳細な情報も併せて記録。走行後に、これら取得したデータとGPSによって電子基準点から取得した補正データを基に計算処理を行い高精度な三次元位置情報を生成する画期的なシステムです。

トンネル  
計測



## MMS登場の背景

MMSが登場した背景には、ここ数年の規制緩和、業界再編などの社会的な環境の変化により、従来は人力で行ってきたデータ収集を効率化・低コスト化を図る動きが活性化してきたことがあげられます。

また、高度道路交通システム（ITS）の実用化が進展し、その具体的な構想や施策の検討が官民一体となって進んでおり、ITSで使用する道路空間データ収集ツールとしてMMSに対する関心が高まっています。

経済産業省では、「2013年までに全国レベルで3次元地図データベース構築を目指す事により、新たなビジネス機会が生まれ、地図サービス産業の市場規模は2008年の約4兆円から2013年には約10兆円へと急増する」とした予想を発表しております。

## 当社の取り組み

アイサンテクノロジーでは、これまでに培って参りました世界座標「最適化」解析ソフト等の位置情報技術を駆使して、MMSから取得する三次元データを最大に活用できる関連ソフトウェアの開発を行い、全国の三次元測量市場・地図作成分野で高い技術を有する建設コンサルタント業社と高精度三次元モービルマッピング研究会を立ち上げ、MMSデータを活用した高精度な三次元地図計測事業の立ち上げを図ってまいります。

地図作成

設備・  
道路管理

# 財務データ

## 貸借対照表

(単位：千円)

科目	前事業年度 平成20年3月31日現在	当事業年度 平成21年3月31日現在	科目	前事業年度 平成20年3月31日現在	当事業年度 平成21年3月31日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
● 流動資産	1,407,467	1,298,260	● 流動負債	445,867	234,087
現金及び預金	766,095	712,797	支払手形	6,801	14,961
受取手形	162,950	134,462	買掛金	44,793	30,059
売掛金	392,144	304,145	一年以内償還予定の社債	200,000	100,000
たな卸資産	43,702	28,837	短期リース債務	—	14,090
その他	49,791	122,879	未払金	20,196	20,152
貸倒引当金	△ 7,216	△ 4,863	未払法人税等	69,824	7,854
固定資産	1,316,832	951,008	● 固定負債	609,902	569,796
● 有形固定資産	876,949	626,850	社債	470,000	370,000
建物	264,077	203,950	リース債務	—	60,900
土地	597,348	341,789	● 純資産の部		
リース資産	—	70,898	株主資本	1,653,148	1,449,109
その他	15,523	10,211	資本金	520,840	520,840
● 無形固定資産	139,004	72,602	資本剰余金	558,490	558,490
電話加入権	4,718	4,718	利益剰余金	573,818	377,154
ソフトウェア仮勘定	161	—	● 自己株式	—	△ 7,375
ソフトウェア製品	74,668	24,349	● 評価・換算差額等	15,382	
ソフトウェア	14,505	7,274	● その他有価証券評価差額金	15,382	△ 3,724
特許権	42,569	34,830	● 純資産合計	1,668,530	1,445,384
実用新案権	2,380	1,428	● 負債純資産合計	2,724,300	2,249,269
投資その他の資産	300,877	251,555			
投資有価証券	67,928	36,364			
その他	232,949	215,189			
資産合計	2,724,300	2,249,269			

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

### Point! | 流動資産

現金及び預金、売掛金の減少は売上高の減少によるものであり、たな卸資産の減少は商品除却損によるものです。

### Point! | 有形固定資産

有形固定資産の減少は尾張旭事業所の土地・建物の売却によるものです。

### Point! | 無形固定資産

無形固定資産の減少は、ソフトウェア製品、ソフトウェア、特許権並びに実用新案権の減価償却等によるものです。

### Point! | 流動負債

買掛金の減少は仕入高の減少によるものです。

### Point! | 固定負債

リース債務の増加は、モバイルマッピングシステムの導入によるものです。

### Point! | 純資産の部

純資産の部の減少は、プログラム準備金の取崩し並びに繰越利益剰余金の減少によるものです。

# 財務データ

## 損益計算書

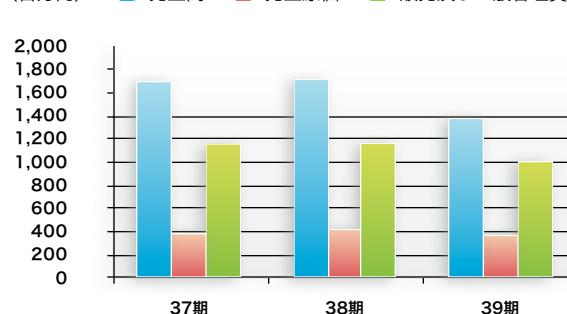
(単位：千円)

科目	前事業年度	当事業年度
	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
売上高	1,716,103	1,378,143
売上原価	422,522	370,471
売上総利益	1,293,581	1,007,671
販売費及び一般管理費	1,165,793	1,006,230
営業利益	127,787	1,441
営業外収益	5,385	7,755
営業外費用	18,548	10,839
経常利益	114,624	△ 1,642
特別利益	390	9,263
特別損失	39,323	213,138
税引前当期純利益	75,691	△ 205,517
税金費用	36,250	△ 37,051
当期純利益	39,440	△ 168,465

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

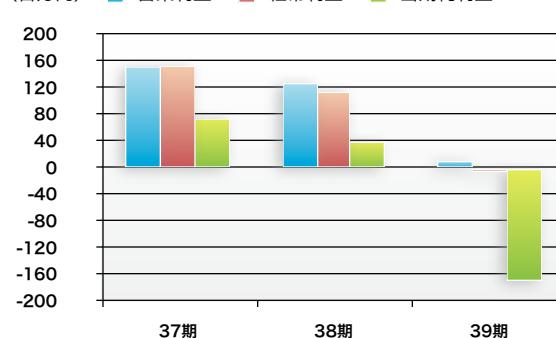
## 売上高・売上原価・販売費及び一般管理費

(百万円)



## 営業利益・経常利益・当期純利益

(百万円)



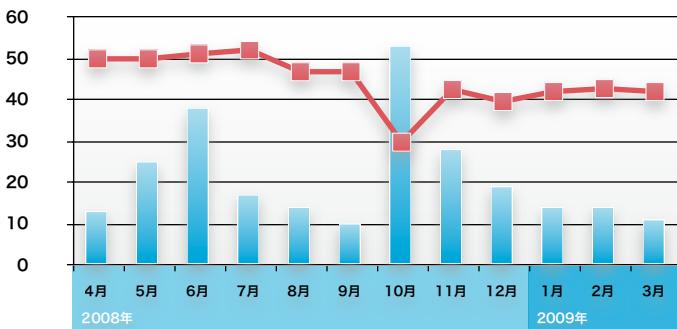
**Point!**

売上高は前期と比較し、19.7%減少となりました。販売費及び一般管理費については一層の削減を図り、前期比13.6%減少となりました。尾張旭事業所の売却による特別損失の計上により、当期純損失が168,465千円となりました。

## 当事業年度における株価推移と出来高

出来高 (千株)

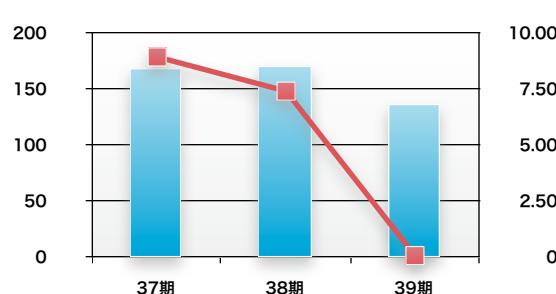
■ 月次出来高 ■ 月末終値



## 売上高営業利益率の推移

(百万円)

■ 営業利益 ■ 売上高営業利益率 (%)



# 財務データ

## 株主資本変動計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位：千円)

株主資本	金額
資本金	
前期末残高	520,840
当期変動額	
当期変動額合計	-
当期末残高	520,840
資本剰余金	
前期末残高	558,490
当期変動額	
当期変動額合計	-
当期末残高	558,490
利益剰余金	
前期末残高	573,818
当期変動額	
プログラム準備金の取崩	-
別途積立金の積立	-
剰余金の配当	△ 28,197
当期純利益	△ 168,465
当期変動額合計	△ 196,663
当期末残高	377,154
自己株式	
前期末残高	-
当期変動額	
当期変動額合計	△ 7,375
当期末残高	△ 7,375
株主資本合計	
前期末残高	1,653,148
当期変動額	
剰余金の配当	△ 28,197
当期純利益	△ 168,465
自己株式	△ 7,375
当期変動額合計	△ 204,039
当期末残高	1,449,109
評価・換算差額等	
前期末残高	15,382
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△ 19,106
当期変動額合計	△ 19,106
当期末残高	△ 3,724
純資産合計	
前期末残高	1,668,530
当期変動額	
剰余金の配当	△ 28,197
当期純利益	△ 168,465
自己株式	△ 7,375
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△ 19,106
当期変動額合計	△ 223,145
当期末残高	1,445,384

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## キャッシュフロー計算書

(単位：千円)

科目	前事業年度	当事業年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	71,170	64,089
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,456	118,185
財務活動によるキャッシュ・フロー	92,400	△ 235,573
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	166,027	△ 53,298
現金及び現金同等物の期首残高	520,067	686,095
現金及び現金同等物の期末残高	686,095	632,797

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

### ■ホームページのご案内

当社ホームページでは、本報告書ではお伝えしきれないIR情報など、様々な情報を掲載しております。是非一度ご覧下さい。

<http://www.aisantec.com/>



### ■アイサンテクノロジーIRメールマガジン

株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、事業活動やその動向を月1回以上紹介しております。

当社をよりご理解頂くためにも是非ご登録ください。(パソコンのメールアドレスへのご登録に限ります)

[http://www.aisantec.com/info/ir\\_mail.html](http://www.aisantec.com/info/ir_mail.html)



# 株主メモ

## 株式の状況 (平成21年3月31日現在)

発行可能株式総数	15,998,000株
発行済株式の総数	4,699,600株
株主数	921名
資本金	520,840千円
一単元の株式数	100株
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所
証券コード	4667

## 大株主の状況 (平成21年3月31日現在)

株主名	持株数 (株)	議決権比率 (%)
加藤清久	1,700,400	36.51
有限会社アット	304,000	6.52
三菱電機株式会社	220,000	4.72
株式会社トプコン	180,000	3.86
アイサンテクノロジー従業員持株会	175,200	3.76
安藤和久	167,000	3.58
竹田和平	120,000	2.57
有限会社キーノスロジック	59,000	1.26
宗次徳二	58,600	1.25
柳澤哲二	58,500	1.25

## 会社の概要 (平成21年3月31日現在)

商号	アイサンテクノロジー株式会社 (英訳名：AISAN TECHNOLOGY CO.,LTD)
設立	昭和45年8月
資本金	5億2,084万円
事業内容	1.公共測量・登記測量・土木建設業向けCADシステムの設計・開発・販売及び保守業務 2.Webグループウェア・モバイルシステムの設計・開発・販売及び受託開発業務 3.世界座標化への解析ソフト・変換モジュールの受託開発業務

## 主な事業所 (平成21年6月24日現在)

本社	
愛知県名古屋市中区錦3丁目7番14号 ATビル	
営業所	
札幌営業所 (札幌市)	広島営業所 (広島市)
仙台営業所 (仙台市)	四国営業所 (高松市)
東京営業所 (東京都)	福岡営業所 (福岡市)
大阪営業所 (大阪市)	

## 取締役および監査役 (平成21年6月24日現在)

代表取締役社長	柳澤 哲二	常勤監査役	神野 照朗
取締役	加藤 淳	監査役	村橋 泰志
取締役	野呂 充	監査役	柳澤 逸司
取締役	中村 孝之	監査役	中垣 堅吾

(注) 監査役のうち村橋泰志、柳澤逸司、中垣堅吾の各氏は、会社法第2条16号に定める社外監査役であります。

# 株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>○単元未満株式の買取（買増）請求</li> <li>○住所・氏名等のご変更</li> <li>○特別口座の残高照会</li> <li>○配当金の受領方法の指定</li> </ul>	特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137 - 8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL : 0120 - 232 - 711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>○株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿 管理人	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>【手続き書類のご請求方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料)</li> <li>○インターネットによるダウンロード <a href="http://www.trmfujio.co.jp/daiyou/">http://www.trmfujio.co.jp/daiyou/</a></li> </ul> </div>

## 証券会社の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>○株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137 - 8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL : 0120 - 232 - 711 (通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主 確定日	3月31日
中間配当金 受領株主 確定日	9月30日（中間配当を実施する場合）
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	
特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137 - 8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120 - 232 - 711 (通話料無料)
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL : <a href="http://www.aisantec.com/">http://www.aisantec.com/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)